

インターバンクの声（2015 年 6 月 16 日）

「週末のギリシャ支援協議が物別れに終わる」「万策尽きたティプラス首相」「ギリシャ株と債券急落、交渉決裂でデフォルト懸念高まる」などギリシャを巡る債務交渉の行き詰まりを示すヘッドラインが並び、欧州市場の序盤では下落していたユーロだったが、ニューヨーク市場ではニューヨーク連銀製造業景況指数と米鉱工業生産がともに市場予想を大きく下回り、欧州時間での高値を超える 1.13 ドル近くまで反発した。ギリシャのティプラス首相は 18 日から 20 日にかけて経済フォーラム出席の名目でロシアを訪問するが、同時にプーチン大統領とも会談する予定で、前回不調に終わった支援融資の再依頼が本当の目的ではないかとされている。もっとも 18 日は、ユーロ圏側がギリシャの改革を巡る新提案の提出期限に設定しており、ギリシャが要求を受け入れなければユーロ圏離脱の選択肢しかないとの最後通告を行う可能性もあるとされている。米 FOMC の利上げ判断、ギリシャ危機の山場と、明日からの市場動向は米雇用統計の発表時以上に緊迫することになるのかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。